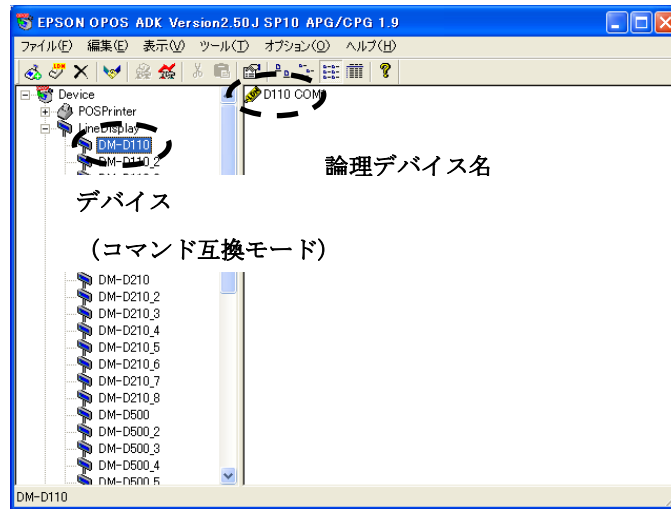


⑪周辺機器管理ソフトの画面が自動的に起動します。

ツリー上の Device を展開し、各周辺機器にデバイス、論理デバイス名が入力されていることを確認します。

論理デバイス名は、システム参照に使用します。

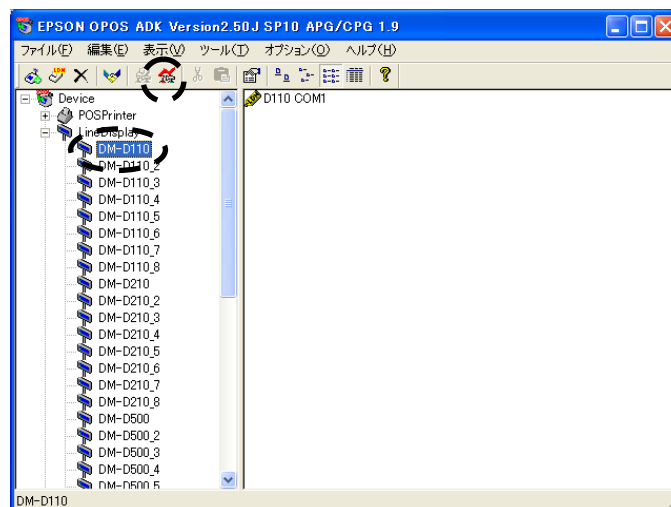


⑫周辺機器 LineDisplay より、デバイスを選択し、[通信設定]ボタンをクリックします。

ポート番号は、周辺機器一覧 (P60) に記載した番号を選択してください。

VFD-460/660 のコマンド互換モードは DM-D110 または、DM-210 となります。

ポート番号	デバイス	論理デバイス名
COM1	DM-110	D110 COM1
COM2	DM-110_2	D110 COM2
:	:	:
COMn	DM-110_n	D110 COMn



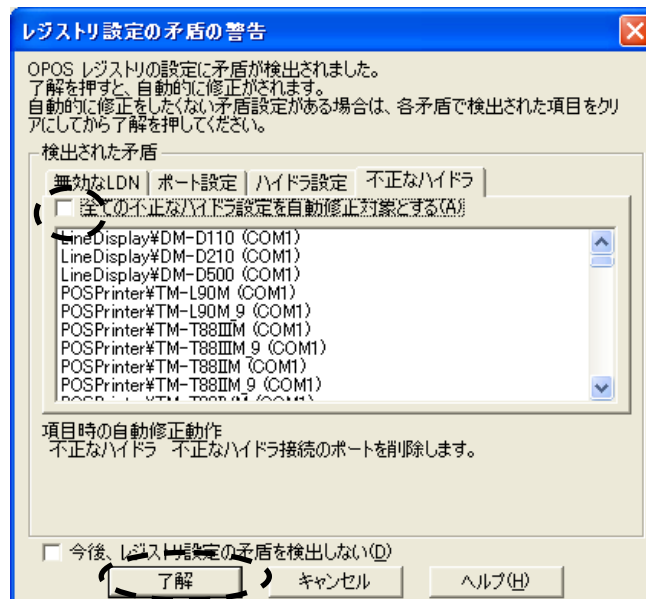
⑬通信設定画面が起動しますので、「左記ポートを使用中のデバイス」を選択し、  
 [了解]ボタンをクリックします。

DM-D110 と DM-210 互換モードになります。

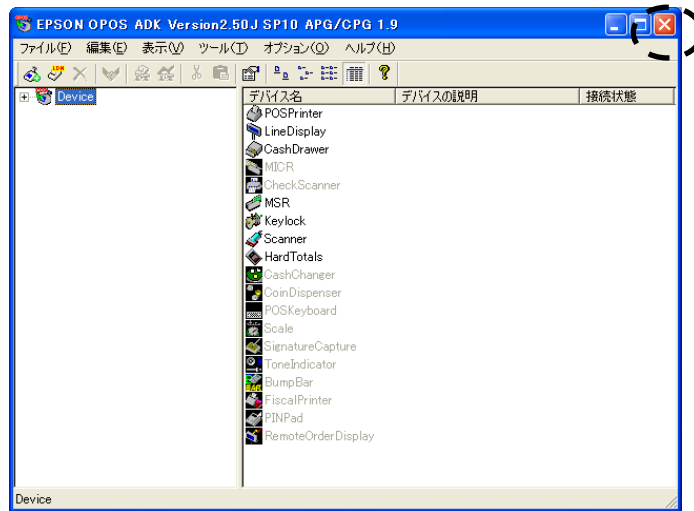


⑭レジストリ設定の矛盾の警告画面が起動しますので、「全ての不正なハイドラ  
 設定を自動修正対象とする」チェックボタンをはずし、[了解]ボタンをクリック  
 します。

チェックをはずし忘れると、デバイス破損の原因になりますので、ご注意ください。



⑮周辺機器管理ソフトの画面を戻ります。画面右上の[×]ボタンをクリックして画面を閉じます。



⑮デバイス名が破損した場合、ぼす魂の CD-ROM を再セットし、最セットアップを行ってください。その際 OPOS レジストリー登録～EPSON OPOS ADK Setup のみ実行してください。

